

平成 29 年度 第 2 回情報交換会(徳島県) 実施報告書

- 1 日 時 : 平成 29 年 9 月 21 日 (木) 13:00 ~ 16:00
- 2 場 所 : 徳島県那賀郡那賀町 ①長安ロダム、②大塚製菓(株)徳島ワジキ工場
- 3 参加者 : ①4 社 (7 名)、②5 社 (8 名)
- 4 内 容

平成 29 年度第 2 回支部情報交換会 (徳島県) を実施した。

①9/21 (木) 13:00~ 長安ロダム改造事業見学

(那賀郡那賀町: 国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所)

長安ロダムは、徳島県により那賀川総合開発の一環として洪水調節、発電、かんがい用水の補給を目的に、昭和 31 年 1 月に建設されたダムである。

近年、那賀川上流域では多雨年と少雨年が顕著化し、洪水が頻発する一方、2 年に 1 度の割合で渇水が発生しており、早急な治水対策が望まれていた。このため平成 19 年に「那賀川水系河川整備計画」が策定され、長安ロダムの管理を徳島県から国土交通省に移管するとともに、治水・利水・環境面におけるダム機能向上を目的とした長安ロダム改造事業が開始された。

見学では、最初に管理事務所でダム管理制御装置について説明を受けた後、ダムの堤体内部に備わる検査、点検、測定などの管理用の通路(監査廊)に案内された。急峻な階段を 30m ほど降り、ダム湖水面よりも下に位置して壁面一面が結露している中、設置されている自動揚圧力計や地震計などの説明を受けた。また、今回の改造事業で洪水吐を新設するにあたり、既存の堤体を切削する必要があり、薄くなった堤体に圧力がかかって監査廊が潰されないよう、一部区間はコンクリートで埋めたとのことであった。説明が終わり、急峻な階段を戻るときにはさすがに息が切れた。これでも 3 分の 1 しか降りていないとのことであり、全部降りた場合は果たして戻ることができるのだろうかと不安に思った。

続いて、実際の工事現場を見学した。今回の改造事業の概要は、

①洪水調整能力の増強

洪水調整容量を増加させるため、新たに洪水吐ゲート 2 門を設置する。

②流水の正常な機能の維持

那賀川における既得用水等の補給・流水の正常な機能の維持をはかるため、不特定容量 3,490 万 m³を確保する。

③環境保全

長安ロダム下流の長期濁水の低減を図るため、日野谷発電所取水口に選択取水設備を設置する。

④堆砂対策

長安ロダムの有効貯水容量減少をおさえるため、貯水池上流において堆積土砂の除去を行う。

というものであり、当日は①の洪水吐ゲート新設工事の最中であつた。切削した堤体の一部を見せてもらったが巨大なものであり、全て切削するのに半年かかったとの説明に納得した。新設ゲートの完成は平成 30 年とのことであり、500 億円を投じる壮大なプロジェクトに圧倒された見学であつた。



(見学の様子)

②9/21 (木) 15:00～ 大塚製菓(株)徳島ワジキ工場見学

(那賀郡那賀町：大塚製菓(株)徳島ワジキ工場)

長安ロダムから那賀川沿いを車で移動すること約 40 分で大塚製菓(株)徳島ワジキ工場に到着する。まず驚かされたのが広大な敷地。緑におおわれた中に工場が立地している。

工場では、始めに大画面の 프로젝タを使用して、緑豊かな徳島ワジキ工場についての説明があつた。カロリーメイトブロックは本工場でのみ生産されているとのことだつた。また、毎年 8 月 13 日には、豪華アーティストによる野外コンサートを開催しており、フロアには出演したアーティストのパネルが飾られてあつた。開催日は、昼に本工場のコンサート、夜に那賀町の阿波踊りを見てもらうために設定したとのことだつた。地域との繋がりを感じた。来年はぜひ参加したいものである。その後、製造ラインをガラス越しに見学した。当日はカロリーメイトブロックのチョコレート味を製造しており、チョコレートの匂いが充満していた。ラインは完全に自動化されていて、人の姿はほとんど見られなかつた。異物が入り込んだり、欠けたり割れたりした製品が出荷されることのないよう品質管理が徹底されており、製品へのこだわりを感じるとともに、安心感を感得た。見学終了時には、工場前に設置されているシンボルマスコットの宇宙人と記念写真を撮った。カロリーメイトは未来型の栄養食品で、『宇宙食』にもなりうる機能性に富んだ食品であることから、宇宙人がマスコットになったとのことだつた。実際に、既に

宇宙日本食に選定されている。



(見学の様子)